

令和 6 年度 道学会事業報告会 抄録集

日時：令和 6 年 12 月 1 日（日）12:10-13:00

場所：苫小牧市民会館 小ホール

座長) 千葉恒 公社) 北海道理学療法士会職能局長
 箭内一浩 公社) 北海道理学療法士会職能局付け理事

【演題 1】

『健康スポーツ局生涯スポーツ支援部の活動 ～SV 付き現場活動～』

仲澤 一也

公社) 北海道理学療法士会健康スポーツ局付け理事
Do-Clinic 整形・運動器リハビリテーション

スポーツ現場での活動に興味のある PT は多いが、「いきなりスポーツサポート現場に行くのが不安」という声をよく耳にします。今年、当部局では、ラグビーの大会におけるメディカルサポート活動において、事前ウェビナーの開催、ならびに指導的 PT (SV) とともに、現場を経験するという事業を企画実施しました。「経験ある人の動きや、現場の雰囲気を経験できた」、と好評を得た本事業を紹介します。

【演題 2】

『パラスポーツの輪を拡げて ～北海道障がい者スポーツ大会への派遣事業を通じて～』

塚田 鉄平

公社) 北海道理学療法士会健康スポーツ局障がい者スポーツ支援部部長
旭川医科大学病院

障がい者スポーツ支援部ではパラスポーツに関わる理学療法士養成のために 2022 年から北海道障がい者スポーツ大会へ PT ブースとして派遣を行なっている。同大会は様々な障がい者が参加し、多くの種目に触れることができ、開催地が輪番であるため、開催地の各支部健康スポーツ部にも協力を依頼している。参加して頂いた PT のパラスポーツへの理解が深まり、障がいがある方にとってスポーツが身近になるように尽力していく。

【演題 3】

『支部会員への情報配信における SNS の活用』

鈴木 智博

公社) 北海道理学療法士会 理事・空知支部長
医療法人翔陽会 介護サービスセンターこうよう

空知支部では管理者ネットワークに加え、LINE 公式アカウントや Facebook といった SNS を積極的に活用しています。元来は災害時連絡網の構築を目的としてネットワーク作りを開始しましたが、平時には支部研修会といった支部活動の広報手段としての役割も担っています。特に LINE 公式アカウントは会員に情報を一斉配信できる簡易的な手段として重宝しております。今回は空知支部における SNS 活用の経緯と今後の展望についてご報告出来ればと思います。

【演題 4】

『健康経営サポート事業の取り組みと展望』

森 宏明

公社) 北海道理学療法士会職能局職域事業部健康経営サポート事業担当
医療法人脳神経研究センター 新さっぽろ脳神経外科病院

健康経営サポート事業では、2024 年 3 月に北海道産業保健総合支援センターと包括連携協定を締結し、転倒災害・腰痛予防事業において理学療法士を派遣する体制を整えました。同年 4 月からサービス提供を開始し、11 月時点で 15 社の企業から依頼を受け、実務も実施しています。セミナーでは、依頼企業の対応事例や事業拡大に向けた人員募集についてもお伝えします。ぜひご参加ください。

- ◇ 演題の発表時間は 6 分、4 演題終了後に全体で質疑応答を行います。
- ◇ 本セミナーはビデオ録画し、会場で参加することができなかった会員にも拝聴いただけるよう、学会終了 1 週間を目安に配信の準備を進めます。発表スライドと共に、聞き逃した部分などは後日ご確認下さい。
- ◇ セミナー終了後のアンケートに回答のご協力をお願いいたします。